



東京地区生コンクリート協同組合
 〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
 電話番号 (03) 3271-2181
 URL: https://www.t-namakyo.jp/
 発行責任者 高 村 尚

＝協組の動き＝

(10月)

- 1日(火) オーナー会議
- 9日(水) 登録販売店会議
- 15日(火) 理事会(No. 1225)
- 28日(月) 理事会(No. 1226)

(11月)

- 11日(月) 理事会(No. 1227)
- 25日(月) 理事会(No. 1228)

2025年 賀詞交歓会
 日時: 1月7日(火曜日)11時より
 場所: 第一ホテル東京(新橋)

人事異動

【着任】

日付	部署	氏名
10月1日	経理部	齋藤 美香

【東京労働局よりお知らせ】

10月1日より東京都最低賃金が1,163円になりました。アルバイトやパート等、すべての労働者に適用されます。



さいちん犬



なまりんちゃん

2025年度生コン販売価格改定実施

当協組では、本年7月に実施した組合員各社に対する原材料費等のコスト動向調査の結果に基づき、粗骨材・細骨材価格の高騰、生コン輸送費及び人件費の増大、来春からのセメント価格の値上げ実施等、生コン工場原価が更に加速的に上昇している実態を踏まえ、9月9日に開催した理事会において、以下のとおり2025年度の生コン販売価格の改定実施を決定致しました。

【2025年度価格改定実施内容】

項目	内容
(1)契約方式	出荷ベース(継続)
(2)改定額	3,000円/m ³ の値上げ
(3)定価	25,000円/m ³
(4)実施期間	2025年4月1日～2026年3月31日までの出荷期間

【当協組の市況対策の経緯】

生コン業界ではここ数年来の経済情勢の激変に伴う原材料価格等の相次ぐ大幅な上昇による急激なコストアップに対応する為、生コン販売価格への転嫁を進めてきました。

然しながら、従前からの商習慣である「契約ベース」での値上げでは価格転嫁に時間を要し、「出荷ベース」での原材料購入価格コストアップ等の負担先行により、組合員各社が経営危機に陥ることが避けられないことから、当協組では2023年4月1日より、毎年度1年間を

有効期間とする期間契約での価格取り決めを主眼とする「契約方式の変更」による値上げを実施してきております。

価格改定実施時期	値上げ幅
2022年6月1日(契約ベース)	3,000円/m ³
2023年4月1日(出荷ベース)	2,000円/m ³
2024年4月1日(出荷ベース)	1,000円/m ³

その結果、東京地区の物価版生コン表示価格は、次のとおり通算では値上げ実施幅のほぼ満額が反映されております。

表示時期	建設物価調査会	経済調査会
2022年6月号	14,800円/m ³	14,700円/m ³
2024年6月号	20,800円/m ³	20,600円/m ³

2025年度の価格改定については今後登録販売店各社の協力を得ながら需要家の皆様にご理解を賜り、「出荷ベース」の完全定着による販売価格への迅速な転嫁を進めて参る所存であります。



理事長就任挨拶

森 秀樹



体調を崩し辞任された青木前理事長の後任として、8月26日の理事会において理事長に選任いただきました森です。東京協組では常任理事半年の経験ではありますが、齋藤元理事長、青木前理事長から引き継ぐ協同組合のこれから向かうべき方向をしっかりと見据え、協組一丸となって課題に取り組み解決していきたいと思っています。そのために理事長として全力を尽くす所存ですので皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

さて、東京協組は各方面のご理解ご協力のもと過去3回、計6,000円の生コン値上げを完遂し、出荷ベースを実行、物価資料も直近で20,800円と大台に乗せることができました。しかし今後セメント・骨材といった原材料の値上げ必至なことに加え、物流費、人件費、産業廃棄物処理費などが軒並み上昇しています。これらを勘案し2025年4月からの生コン価格は定価25,000円とすることとし、合わせて30年手つかずであったスライド価格表の全面改定も行います。

完全週休2日制の導入実施については生コンを魅力ある産業にするた

めの第一歩であり、次世代の人材確保のためにも確実に実行、定着させなければなりません。これも来年度より実施いたします。

生コン値上げ、スライド価格表の全面改定、完全週休2日制を来年度同時実施することになります。需要が伸び悩む中、軽量骨材の供給不足、高強度コンクリート用硬質砂岩の出荷制限も問題となっています。

このような状況の下、誰かが一人勝ちするのではなく生コンの安定供給を支えるサプライチェーン全体の維持・強化が必要であることを念頭に取組んでいきます。

生コン卸、登録販売店各社とは今まで以上に連携し信頼関係を持って課題に対処していきたいと思っております。

課題山積の船出となりますが東京協組の結束力でこの難局を乗り越えていきましょう。皆様のご協力を重ねてお願いし就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	9月(実績)	10月(月初想定)	9月(実績)	
	前年比	前年実績比		前年比
大型	191,464 m ³ 91.5%	200,000 m ³ 88.0%	引合	57,330 m ³ 55.1%
小型	24,353 m ³ 94.3%	25,000 m ³ 88.4%	成約	50,335 m ³ 54.9%
計	215,817 m ³ 91.8%	225,000 m ³ 88.0%	契残	3,092,383 m ³ 74.0%

スライド価格改定実施

当協組では、2023年9月に「スライド改定ワーキンググループ」を発足し、現行のスライド価格表に記載の各種の項目について、組合員各社の意見を踏まえ全面的に見直し作業を実施して参りました。今般、改定案の成案を得たことから9月24日に開催した理事会において、以下の項目について2025年4月1日より改定することを決定しましたのでお知らせ致します。

【改定実施項目概要】

1、原材料価格の大幅な高騰に伴う適正な配合価格への改定

(1)スライド単価の改定(セメント価格の大幅上昇の影響を反映)

2、スライド表区分の改定

(1)スランプ値差の簡素化(土木用・

建築用に区分分けと価格の整理)
(2)呼び強度区分の改定(高強度領域の1N/mm²毎の区分設定)

3、特殊コンクリートに関わる改定

(1)特殊コンクリートの取扱い見直し

4、その他コンクリートに関わる改定

(1)モルタルスライド価格の改定
(2)空積割増料金の改定

5、付帯事項の改定

(1)出荷予定キャンセル扱いの改定
(1)キャンセル料金の改定
(2)キャンセル締切時間の変更(前倒し)
(3)予定数量減少の有償化

(2)働き方改革への対応

①完全週休2日制への対応(土曜・日曜・祝日出荷に関わる割増し料金のスライド表からの削除)
②時間外出荷の時間設定変更

(3)試験費用の改定

①試し練り料金の改定
②各種追加試験料金の改定
③実機試験料金の改定

(4)残コン・戻りコンの削減

①取消し料金の改定

本件「スライド価格の改定」については今後、登録販売店各社の協力を得ながら需要家の皆様にご理解を賜りますよう、取り進めて参る所存であります。

東京協組 職場紹介 ～営業部～

今号より東京協組各部の紹介をさせていただきます。一番手として営業本部営業部を紹介いたします。

協組キャッチフレーズである「コンクリートで夢を形に!!」の実現に向けて日々取り組む営業部の日々の活動内容は次の通りです。

①建設会社へ定期的に訪問して協組の出荷状況等を報告、また様々なルール変更(最近では契約方式変更、残コン有償化、スライド改定など)をご理解頂くべく説明しています。同時に、先方の需要動向など情報収集を行います。時として先方より厳しいご意見を賜ることもあります。鍛えられた胆力で対応します。

②営業エリアである都内17区は5ブロックにエリア分けされていますが、ブロック毎に工事情報を取り纏め、現場調査などマーケティングリサーチを実施して協組エリアの工事状況を把握します。

③登録販売店より上程された工

事物件を割決係数に基づいて工場選定を行います。また出荷時のトラブルを防ぐために、納入開始前に販売店、各工場の営業担当者を招集して納入準備会を開催します

④その他各種会議開催とそれに伴う資料作成、組合システムの営業部門のデータ管理なども行います。

さて、須田本部長の優しくも時に厳しいご指導の下で、この様な多岐に亘る業務を遂行する営業部メンバーは、梶浦部長(協組在籍14年目)、菊地副部長(同13年目)、佐藤副部長(同7年目)、塩田課長(同12年目)、野中課長(同3年目)、五十嵐さん(同2年目)、廣瀬さん(同2年目)、雲野さん(同2年目)、鳥海さん(同3年目)と技術部兼務の中島課長(同3年目、内営業部2年目)です。現在、建設業界を取り巻く環境は依然厳しい状況ではありますが、笑顔を忘れず困難を乗り越えていく所存ですので、皆様どうかよろしくお願いたします。



2024年度上期 周辺協組出荷実績

	東京		東関東		三多摩		玉川		神奈川		埼玉		千葉西		千葉中		千葉北		合計	
	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)	実績(m ³)	前年比(%)
4月	239,506	116.7	28,369	130.8	60,301	94.8	54,693	99.7	85,440	104.0	117,895	89.1	50,788	132.8	37,656	63.0	26,987	73.5	701,635	101.0
5月	215,886	109.0	22,117	93.7	62,734	116.4	49,561	91.6	82,290	118.1	108,750	82.1	43,658	103.3	31,554	76.1	24,907	68.3	641,457	98.4
6月	220,506	96.3	27,044	73.7	59,214	76.5	48,453	77.8	90,909	131.8	113,517	76.9	37,966	82.1	35,494	95.3	27,280	74.7	660,383	89.0
7月	236,490	103.4	29,534	85.6	73,160	101.8	52,673	83.2	90,478	106.4	122,890	91.9	41,637	82.2	40,178	105.4	25,428	70.3	712,468	96.0
8月	186,723	91.6	20,536	65.2	53,675	89.9	41,169	88.8	68,027	90.9	92,050	75.0	37,941	96.3	34,718	97.0	19,929	74.9	554,767	86.6
9月	215,817	91.8	26,807	85.1	65,558	99.1	52,544	118.1	79,691	72.6	111,261	84.3	48,176	99.3	37,372	95.3	22,327	78.4	659,552	89.7
上期計	1,314,928	101.1	154,407	86.0	374,642	95.4	299,092	91.9	496,835	101.3	666,362	83.2	260,167	98.1	216,972	86.2	146,858	73.1	3,930,262	93.4